

枚方公済病院 脳神経外科のご紹介

2024年8月1日より開設した新しい科です。常勤脳神経外科専門医1名、非常勤脳神経外科専門医2名で診療に当たっています。常勤脳神経外科医は開頭手術約1000件の実績あり、経験豊富です。地域のニーズに合った医療、高齢化社会を背景に増えている脳疾患に対し、内科的・外科的対応を行います。

頭痛、めまい、麻痺、筋力低下、しびれ、歩行障害、物忘れ、失語症などの症状のある方はご相談下さい。

治療実績

2025年 入院患者 129名

脳梗塞 58名、脳出血 15名、頸部頸動脈狭窄症 4名、頭部外傷 29名（慢性硬膜下血腫 19名）、脳腫瘍 5名（髄膜腫 3名 / 膠芽腫 1名 / 転移性脳腫瘍 1名）、正常圧水頭症 8名

2025年 手術 45件

慢性硬膜下血腫 穿頭洗浄術 23件、水頭症手術 6件（脳室腹腔短絡術 5件 / 腰椎腹腔短絡術 1件）、開頭脳腫瘍摘出術 4件、血腫除去術 6件（脳内血腫 2件 / 硬膜下血腫 1件）
血管内手術 8件（頸部ステント留置術 4件 / 腫瘍栄養動脈塞栓術 2件 / 中硬膜動脈塞栓術 2件）

脳卒中、頭部外傷の救急患者の受け入れは、日勤帯を中心に行なっています。脳神経外科で主に扱う脳卒中には、脳梗塞、脳出血等ありますが、当院では初期治療から急性期リハビリテーションを行います。血栓回収など超緊急での対応が必要な場合は、適切な治療のできる施設へ紹介することもあります。頸動脈狭窄症（主に症候性）に対するステント治療を行っています。頭部外傷については、意識障害や、神経症状を呈する場合、頭部CTで異常を認める際は、経過観察のため、入院加療を行います。軽傷の場合でも数週間以降に慢性硬膜下血腫に移行することがあり、入院、手術治療となります。脳腫瘍（髄膜腫や転移性脳腫瘍）の摘出術も行っています。正常圧水頭症に対しては、外来や入院でtap testを行い、適応症例に脳室腹腔短絡術または腰椎腹腔短絡術を行っています。



脳神経外科科長
上村 喜彦
(うえむら よしひこ)



榊原 史啓
(さかきばら ふみひろ)



森田 寛也
(もりた ひろや)

地域医療連携室 (072)808-0010

(月火金) 8:30-20:00、
(水木) 8:30-17:15、(土) 9:00-13:00

夜間休日のご連絡 ▶▶▶ 病院代表 (072)858-8233